

ひます、

私の申上げた所の用途即鐵線として鐵の用途に對する鐵材は重量に於ても又金額に於ても、共に他の用途に對するものに比較しますると、極めて微々たるものでありまするが、其必要の程度に於ては、他の用途に對するものに比較して、一步も譲らないものと信じます。否若も輸入が杜絶し内地に於て製造する事が依然として出来ないといふ曉に於ては、或は一國の興廢存亡にも關する大問題を惹起しないとも限りません、これ即ち私が今日此席に於て此問題を提唱して、製鐵當業者諸君の、熟考を煩はす所以であります、

鐵鋼の獨立自給策に對する討議(現下の鐵鋼自給策)

瀧澤七郎

私は鐵鋼協會員でありまして、名も無い「マレーブルカスチング」の工場を經營して居る一職工であります、此處に登りましたのは俵博士の煽てに乗て出たのであります、私も鐵の自給策、即ち現下の自給策、永遠の自給策に付ては多少の考もありますが永遠の自給策に就ては之を措きて現下の自給策に就て申上げたいと思ひますが、私は唯だ此鐵の永遠の策と云ふ上に於て憂慮に堪へないことがあるので一言申上げます、夫は製鐵所の擴張と云ふことに付きましては其益金を擧げて此の擴張をなさると云ふことを聞きまして大變喜んで居りましたが諸君も御覽でございましたらうが本年一月の二日か三日の萬朝報の第二面の欄内に斯う云ふことがありました、萬朝報は御存じの通り現内閣の提燈持で社長黒岩さんは勳章も戴いたと云ふやうな新聞でございます、さて此の度政府が海軍擴張に對して衆議院に提出せられたるは只海軍擴張費一億有餘萬圓の頭だけ出て居つて其後の計畫に付ての收入と云ふものが定まつて居らなかつたのであります、然るに本年貴族院の方へ其豫算が廻るに付て如何にして此後の問題を解決したら宜からうかと云ふことは苦心慘澹たるものらしいのであります、萬朝報に斯う云ふことが書いてあります、政府は海軍擴張の爲に製鐵所の益金を之に投ずると云ふやうなことが彼の萬朝報にありました、煙の下に火があると云ふことを知つた

ならば斯う云ふことも政府の當路者の間には論議されて居るのではなからうかと深く私は憂慮に堪へない次第であります、彼の日露戦争に當つて、我々労働者に最も必要なる鹽と云ふものに税金を掛けられ、我々労働者が最も其多きを占める電車の如きにも通行税が掛かつて毎日何錢かを支出して居ると云ふ政府であるならば此の製鐵所の益金をさう云ふ所に振向けはせぬかと云ふことを深く憂慮に堪へません、若しさう云ふことがありましたならば我々は堂々と之を責めてさうして斯様な暴政をなさしめないと云ふことが我々の將に取るべきことだらうと思ひます、第二に現下の鐵の應急策と云ふことに付きましては是は自家廣告と云ふことに當るかも知りませぬが少々申上げて見たい、諸君經驗なき智識は智識なき經驗に如かずと云ふことがありますが、私は多少なりとも「マレーブルカスティング」の經驗を持つて居りますから皆様、學者諸君に向つてお話しすることも敢て異とするに足らぬと思ひます、私は四年前に「マレーブルカスティング」の工場を本所に持ちました、最初は僅に七間と三間の小さな工場で暫く研究をしまして昨年は俵博士にも見て戴きましたが私は只今迄三回工場を移轉しましたが、先生が汝の爲した經過を見せろとのことで初めの工場より皆な御案内しました、其時先生が職工に對してお話があつた、先生の御言葉に、私も日本の工場を見た外國の工場も見たが此位小さな工場は初めて見た、併し大工場は大工場、小工場は小工場に夫々使命がある、國家の爲めに自重自愛せよと、それは實際であります、尤も只今では三百餘坪の敷地となつて居ります、私は「マレーブル」と云ふ物が非常に必要な物だと云ふことは十數年前農具を取扱つて居る上から見て、又亞米利加に居つた友人が「ホーク」だとか「レーキ」だとか云ふ物を「マレーブル」に依て出來たのを見て日本に於てもそれが出來たらと云ふことを聞いて深く腦裡に印して居つた、そこで明治四十五年に工場を經營して段々研究して居りますが、幸に一昨年の大正博覽會にも出品しまして有難い褒狀と云ふものを戴きました、私は眞に是は有難いと思ふ、何となれば百萬圓の株式會社と同様に褒狀を得たことは百萬圓の株式會社の金牌よりも尙ほ偉いと信じて居ります、自畫自贊は扱置きまして此「マレーブル」は亞米利加で出来るのは、百五十萬噸位の産額があるさうであります但日本に於ては四五年前の調査では三千噸か四千噸しかないと思ひます、其後戸畑に株式會社で可鍛鐵鑄造所が起りまして澤山の製造が出來ますが未だ實に微

々たるもので、日本全國で一萬噸内外のものと私は推測して居りますが、鐵が高くなりませぬ間は「マレーブル」に向つて注文と云ふものは案外少なかつたのであります、何となれば「マレーブル」の方は一貫目一圓乃至二圓位の價格を以て販賣しなければ利益がありません、然らざれば工場が立て行くことは出来ませぬ、鐵の方は一貫目二十四五錢か三十錢で出来ますから工賃を掛けても六十錢七十錢で出来るから此の「マレーブル」を使うことは出来ませぬが、一昨年歐洲の戦争の突發以來鐵が高くなりました爲に此「マレーブル」に向つて研究されてどうしたならば鐵の幾分を補つて行くことが出来るだらうかと云ふことで段々此品物をお使になる方が多くなつて來ました、そして私共の喜んで居りますのは内地でそれを需要するのみでなく、私共の製品が外國へ出るやうになつたと云ふことであります、私共此成績の上に付て非常に喜んで居ります、私共のどう云ふ品物が英吉利の方に出るかと言へば自轉車の心棒のはぶと云ふ者、針金を掛けて玉がくるく廻る、あの品物が昨年八月以後毎月五千組乃至一萬組位英吉利に出て居ります、今日でも宮田製作所等では自轉車のハブを造るのはまだ丸棒で造られて居りますが私は一昨々年度より試みましたがけれども慣れないので原價が高くなりますので舶來品と競争することが出来ませぬ、然るに事件の勃發後舶來品がなくなつて内地の物が賣れるやうになつた、初めは内地の需要に應じて居りましたが昨年八月以後注文が横濱に澤山來ました、到底私共の徴々たる所では之を充分製造することが出来ませぬのは遺憾に堪へません、只今では十萬でも二十萬でも出來さへすれば輸出せらるるのであります、自轉車の附屬品で日本から出ますのは此の外に「バルブ」「油差し」で、東京市内で製造して居ります者が、毎月何十萬と云ふことを聞いて居る、是も到底製作が間に合ひませぬ、それから「ペタル」と云ふ物も英吉利に出ます、あの心棒を鐵で造つて居ますが鐵が高くなつて來たので、「マレーブル」で心棒を拵へるやうになつた、諸君は鐵で造るものに向つて鐵が高いからなるべく此「マレーブル」をお使ひになる方が宜いと思ふ、是は自畫自贊の廣告のみではありません、又廣告と看做されても差支ありません、併し實際の應用と云ふことは其範圍頗る廣いものであります充分の御研究を願ひます、次に目下の應急策と致しましては古鐵の整理と云ふことが非常に有利有望なことと思ひます、私は昨年十月以來此の實驗をしたお話をします廢物利用と云ふことに付て

どうか御考慮を願ひたい、夫は私の友人が農具の製作をして居りますが、鐵が一圓になり一圓五十錢になつて、普通の價で賣ることが出来ないと言ふので非常に頭を痛めて居ました、私は本所に居つて古鐵屋のやることを見て居ましたので昨年古鐵の廢物に均しい物を一萬貫程買ひましてそれを整理しましたが其の製品は全く新しい物であります、そして一貫目四十錢替で引き受けて鐵を拵へてやることにして既に今日まで約四千貫の物を拵へてやりました、極めて悪い鐵を集めて立派な物が出來て居ります、さうして其先から出る小さな層は私の所で使う「マレーブル」の原料になります、古鐵の整理は非常に宜い、建築材料に使う工形杯は非常に宜い、又古「レール」杯は手斧、ツルハンに拵へます、工形で七分丸、八分丸、九分丸、等拵へます、アー云ふ物は五十錢か六十錢で出來ます、又は工形で自轉車の「クランク」が出來ます、今日のように鐵が高くなつて來ては日本にある廢物たる古鐵の整理をすると云ふことは寧ろ當面の大問題だらうと思ひます、職工の考へは職工だけに極めて卑近なる、又消極的でありますが御參考の一助ともならば幸甚の至りであります。(拍手)

鐵鋼の獨立自給策に對する討議

三 木 正 夫

無理やりに引張り出されましたから仕方ありません、私は神戸に居ります鍛冶屋の職工の親方の一人であります、今迄お歴々のお話になりましたことは最も有難く拜聴いたしました殊に野呂博士の根本的鐵の自給策に付てのお話は頗る有難く拜聴しました、所で其終りに先刻もお話があつたやうであります、製鐵事業の發展と云ふものはどうしても相當の保護がなければならぬ、各國共例がある、其保護の一部分としてどうしても關稅を増さなければならぬと云ふお話であります、此の關稅の問題に付きましては先年來造船協會の船價調査問題に付て、到底船を造る者は、船のみならず總ての補助機關、一般に鐵を以て造るものは外國との競争をする點に於て材料の最も安い物を用ひなければならぬと云ふことに歸着しまして結局は關稅の輕減を願はなければならぬ、私は輕減でない、全廢を願うと云ふ一人